

素朴な疑問： 充電工具の点検方法を教えて

答え：下記項目にて、確認をお願い致します。



写真1: チタン合金製充電式12トン工具

<外観検査に関するもの>

1. 外観を検査し、下記項目について確認する。
 - ① 本体(ハウジング)、ヘッドカバーに大きな傷、破れがないか。
 - ② ダイヤルがセット出来るか。
 - ③ ヘッド部が回転するか(6トン工具: 360度、12トン工具: 180度)

<油圧機構に関するもの>

2. 油圧機構について、下記項目を点検する。
 - ① 点検用ダイヤルを装着し、作動させ、油漏れがないか。
 - ② ラムが完全に戻るか。
 - ③ 出力計を用いて、出力を測定し、下記規定値内であるか。
規定出力 6トン工具: 56.9 ~ 63.7KN (5.8 ~ 6.5ton)
12トン工具: 101.0 ~ 110.8KN (10.3 ~ 11.3ton)

※点検方法詳細は弊社発行取扱説明書を参照願います。

<バッテリーに関するもの>

3. バッテリー、充電器について、下記項目を確認する。

- ① 満充電バッテリーにて点検用ダイヤルを装着し、30回程度空圧縮が可能か。
 - ・圧縮回数が少ない場合⇒リフレッシュ充電をお願いします。
 - ・圧縮回数が極端に少ない場合⇒バッテリーの交換をお願いします。

<注意>

バッテリー容量不足で動かなくなった工具のスイッチを押し続けるとモーターを焼いてしまう危険がありますのご注意願います。
- ② バッテリー、充電器の電気接点が汚れていないか。(写真:2)
 - ・目視で点検し、腐食が発生していたら、スポンジ等で磨いて汚れを落としてください。

<注意>

 - ・金属たわし、やすりでは、接点を傷つけてしまう恐れがありますので使用しないでください。
 - ・バッテリーを保管する際は、付属のターミナルカバーを取付けて保管願います。
 - ・バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる場所に保管しないでください。
例 : 金属箱の中や夏の車内等
- ③ 充電器の電源プラグやコードが損傷していないか。(写真:3)

<注意>

電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電やショートして発火する恐れがあります。



写真2: バッテリー



写真3: 充電器